

おゆみ野南中だより

千葉市立おゆみ野南中学校

平成 29 年 6 月 30 日 (金)

第 4 号 学校だより 文月

最後のノック・最後の試合

校長 平江 正実

自分を振り返ってみても、中学生の頃は二分法で物事を捉える傾向が強い時期だと思います。つまり、「100か0か」「勝ちか負けか」「イエスかノーか」など all or nothing 思考をする傾向が強いということです。こうした思考法を用いると、物事は白か黒かのどちらかで、中間のグレーゾーンは消えることとなります。誰しもある程度は all or nothing 思考をすると思いますが、自己評価が低い人にこうした考えが多いと言われています。いつも自分が望むように事が運ぶとは限りません。ですから、たとえ結果が自分の望んだ形にならなくても、これまでの自分の頑張りや努力を肯定的に自己評価できるようになってほしいと思っています。

このようなことを思っている時に、2つの You Tube 動画と出会いました。一つはある高校野球部の『最後のノック』です。その高校では野球部員の中でベンチ入りできるのは20人、背番号をもらえない部員は100名以上となります。その野球部では、夏の大会を前に、ベンチ入りから漏れた3年生だけで引退試合を行います。そこには最後の試合を楽しもうとする3年生部員の姿があります。しかし、それで終わりではなく試合後に、大会のメンバー入りが叶わなかった3年生達と監督との『最後のノック』が始まります。そして、いよいよ最後の一本というところで、3年間を振り返り、楽しさ、悔しさ、喜び、感謝、全ての思いを涙ながらに魂の言葉として監督に伝えます。そしてこの光景を、1・2年生全員と保護者が見つめています。これで、メンバーに選ばれなかった3年生は「自分だけの夏」を終え、翌日からはチームのための長い夏を裏方として過ごします。3年間の思いを監督にぶつける選手たち。最後の公式戦に出ることは出来ませんでした。発せられる言葉から彼らの充実していたであろう年月を感じることができます。

そしてもう一つは「toto 最後の試合」というかつて放映されたコマーシャルです。わずか90秒の映像の中に次のテロップが映し出されます。

今日、吉田は引退する。
誰よりも練習した。努力は必ず報われると思っていた。
練習しか、なかった。
でもその挫折が、その悔しさが、その痛みが、彼を強くする。
吉田のシュートはいつか決まる日が来る。

最後の試合に出ることはできなかったバスケット部員を描いています。

いつかシュートが決まる日まで、自分のことを肯定的に捉えて頑張ることのできる人になれるよう、結果よりも日頃の取組や努力の程度を見て評価してあげることが大切だと考えています。

生徒総会

6月22日（木）5、6時間目に生徒総会がありました。28年度の決算報告や、29年度の生徒会の目標などが議題として取り上げられました。多くの生徒から様々な提案や意見があり、活発な生徒総会になりました。



おやじの会主催 草刈りボランティア

6月24日（土）午後3時より、おゆみ野南中学校おやじの会主催で草刈りボランティアが行われ、個人での参加の他、男女サッカー部、テニス部、バレー部、吹奏楽部など、約100名の生徒が参加しました。草刈りの後は、おやじの会からかき氷をごちそういただきました。一汗かいたあのかき氷は、格別のおいしさでした。



7月の行事予定

- 3日（月） 保護者面談 月34水12
- 4日（火） 保護者面談 金12火56
- 5日（水） 保護者面談 水3456
- 6日（木） 保護者面談 木3456
- 7日（金） 保護者面談 金3456
- 10日（月） 木曜日課 ⑥カット
- 12日（水） 壮行会リハーサル 1年生交通安全教室⑥
- 13日（木） 壮行会 月曜日課 給食修了
- 14日（金） 全校集会
- 15日（土） 市総合体育大会（～20）
市総体サッカー会場（15-16日）
- 17日（月） 海の日
- 18日（火） 夏季休業（～8/28）



◆7月の完全下校時刻 18:30
（部活動終了時刻 18:15）